

横河電機株式会社

# 2019年3月期 第1四半期 連結決算の概要

対象期間：2018年4月1日～2018年6月30日

2018年8月7日

## ■ 1Q実績：増収増益、順調なスタート

- ・サマリー : 受注1,000億円超過、営業利益ほぼ倍増
- ・セグメント別 : 制御堅調、計測前年並み、航機その他スロースタート
- ・地域別 : 中国堅調、中東は受注増加、日本は堅調維持
- ・業種別 : Upstream増加

## ■ 通期業績予想：修正なし (為替レート：USD105円 EUR130円)

- ・市況 : OPEX投資の継続、CAPEXの一部で回復の兆し
- ・地域別 : 中国引き続き堅調期待、北米・中東・ロシアは機会に注目
- ・業種別 : LNGを含むガス需要増に伴う、CAPEX投資拡大に期待
- ・リスク : 米中貿易摩擦の影響など

## 1. 1Q実績

決算サマリー／四半期別実績／営業利益分析／セグメント別実績  
地域別売上高／制御地域別受注・売上高／制御業種別受注・売上高

## 2. 現状認識と通期業績予想

## 3. 補足資料

営業外・特別損益／受注残高／研究開発費・減価償却費・設備投資  
貸借対照表／トピックス／株価の状況

# 決算サマリー（対前年）

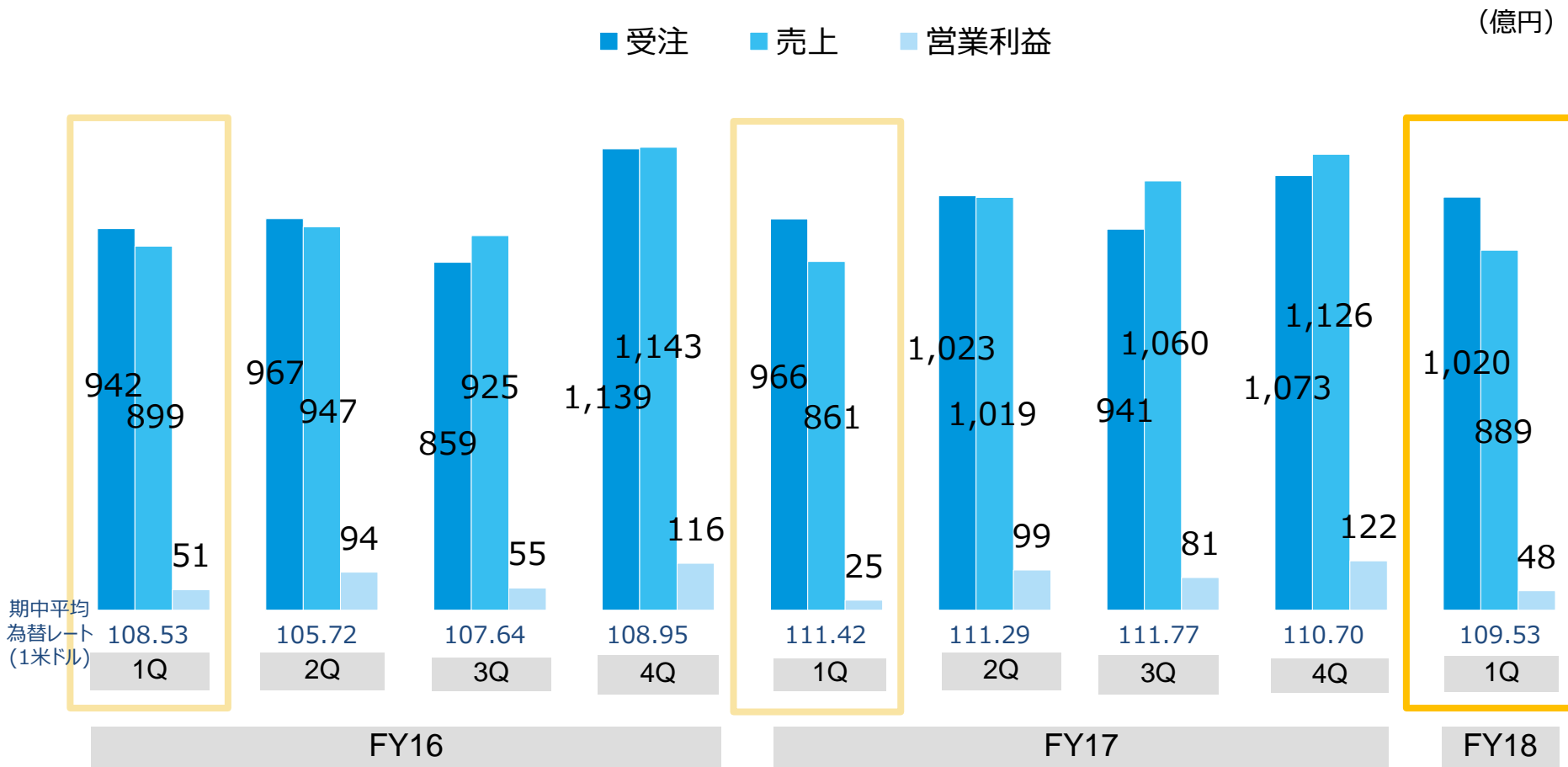
- ◆受注・売上 : 制御事業が堅調に推移し、**増加**
- ◆営業利益 : 増収および粗利率の改善により大幅**増益**
- ◆四半期純利益 : 前年同期に特別利益24億円を計上したこともあり、ほぼ**前年並み**

(億円)

	FY17_1Q	FY18_1Q	差異	増減率	為替影響
受注高	966	<b>1,020</b>	+54	+5.6%	▲1
売上高	861	<b>889</b>	+28	+3.3%	▲3
営業利益	25	<b>48</b>	+23	<b>+88.1%</b>	▲3
ROS(%)	3.0	<b>5.4</b>	+2.4pt	-	-
経常利益	29	<b>56</b>	+27	+92.6%	▲2
親会社株主に帰属する四半期純利益	33	<b>34</b>	+1	+1.9%	▲2
EPS(円)	12.35	<b>12.61</b>	+0.26	+2.1%	-
為替レート   1米ドル=	111.42円	<b>109.53円</b>	▲1.89	-	-

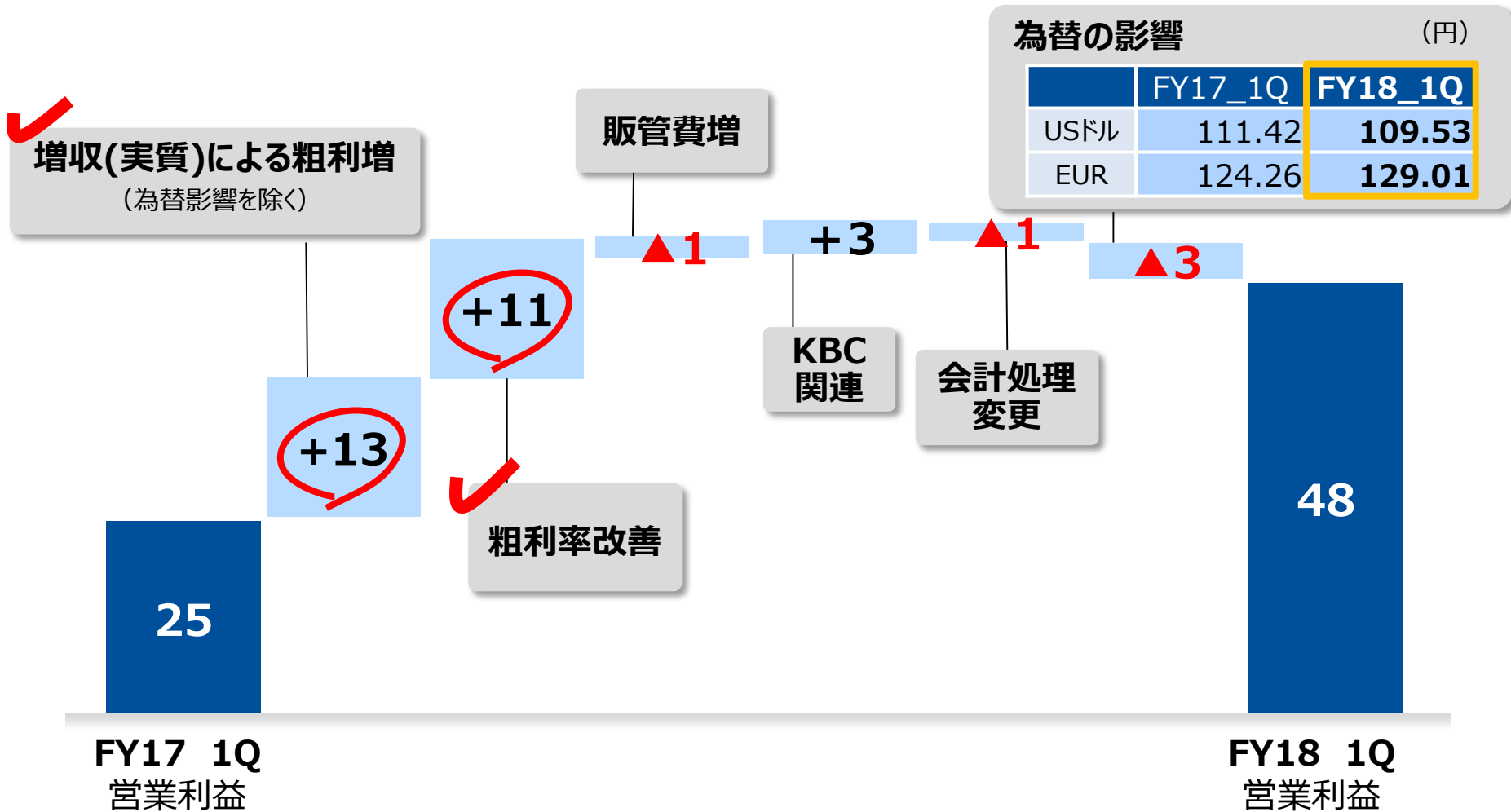
# 四半期別実績

◆売上高・営業利益は、日本の制御事業を中心に2Qおよび4Qに集中傾向



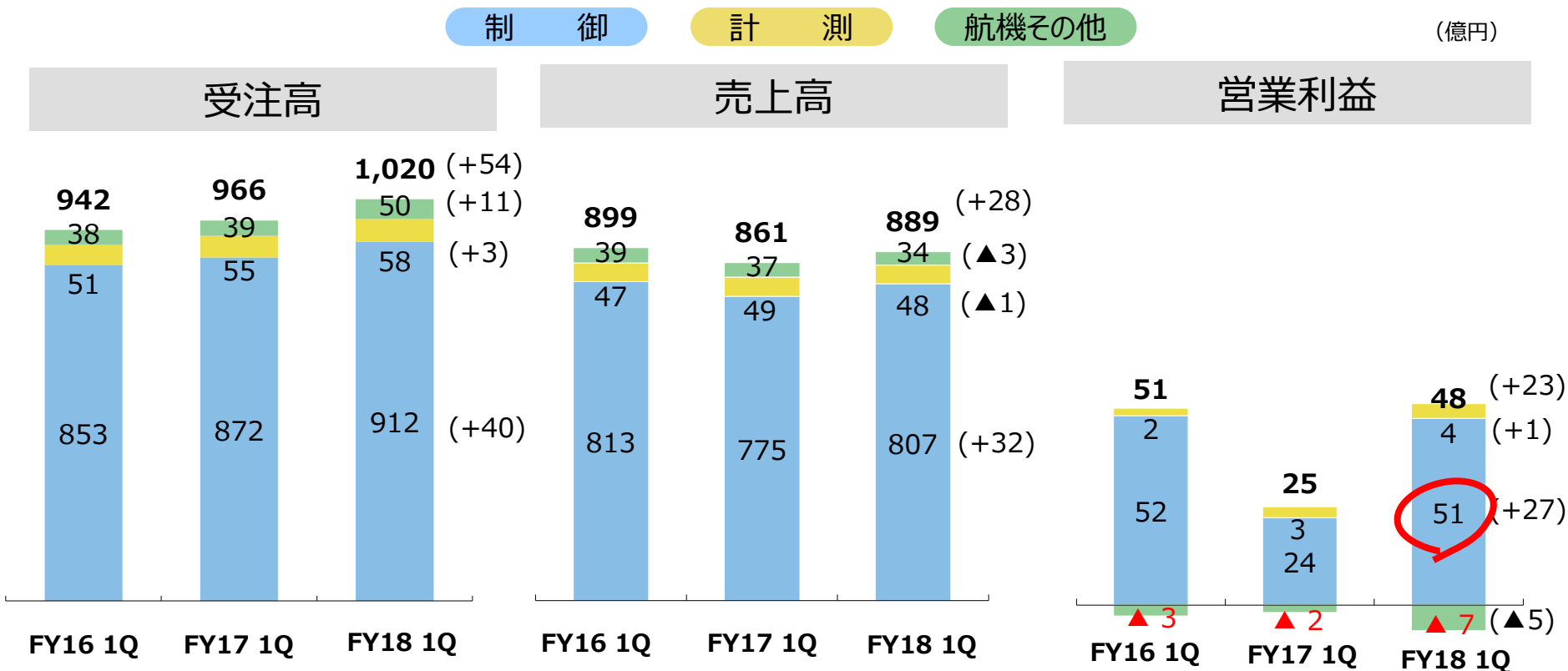
# 営業利益分析（対前年同期比）

(億円)



# セグメント別 受注・売上・営業利益

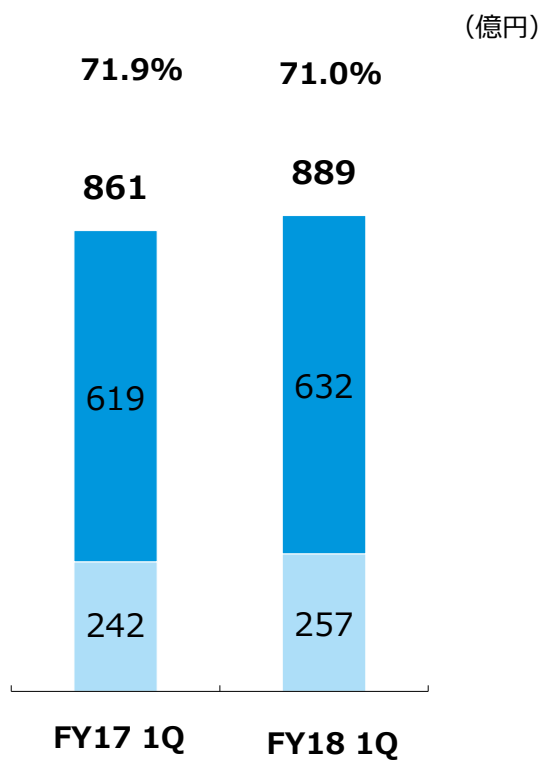
- ◆ 制御事業 : 受注高、売上高ともに海外の製品販売を中心に堅調  
営業利益は増収および日本を中心に粗利率が改善し、大幅増益
- ◆ 計測事業 : 前年並み
- ◆ 航機その他事業 : 厳しい市場環境が続くなかで、減収・減益



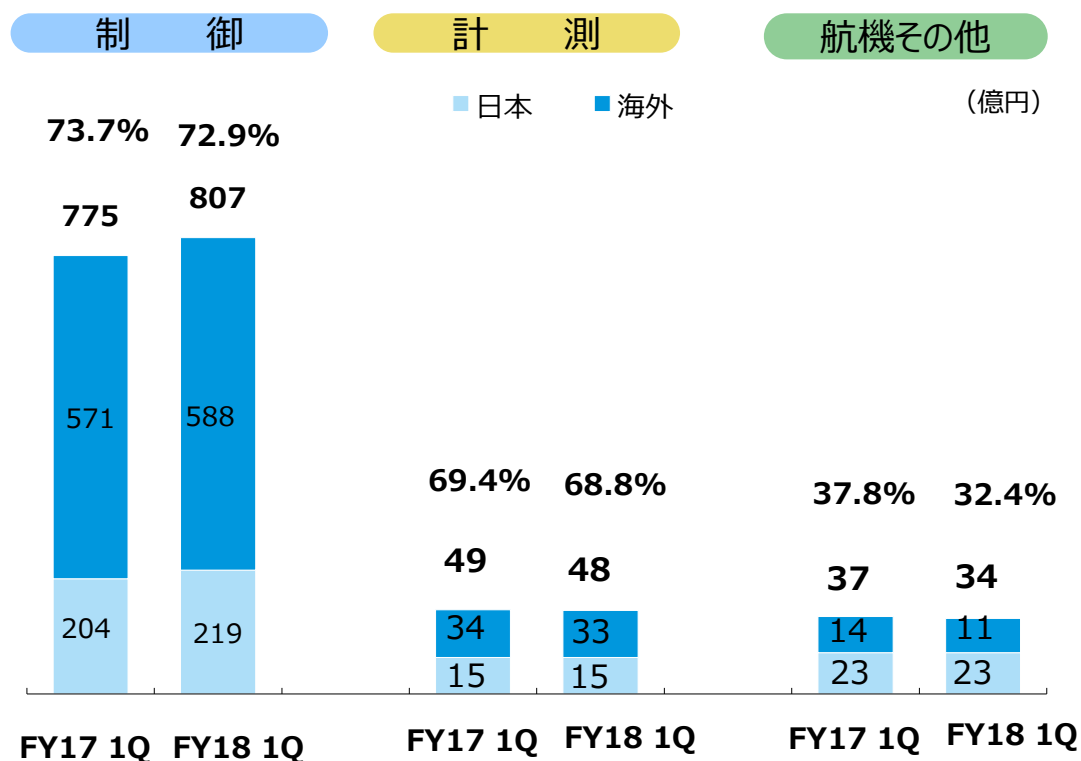
# 地域別売上高

◆地域別売上高のうち、セグメント別売上高を仕向け地別基準に変更(影響額は軽微)

## 全社



## セグメント別





# 制御地域別 受注・売上高

- ◆ 制御地域別受注・売上高を、仕向け地別基準に変更(影響額は軽微)
- ◆ 中国堅調、中東は受注が増加

(億円)

受注高	FY17 1Q	FY18 1Q	FY18 (予想)
日本	235	230	1,100
アジア	325	334	1,190
(東南アジア・ 極東)	(184)	(167)	(670)
(中国)	(113)	(125)	(400)
(インド)	(28)	(42)	(120)
欧州・CIS	133	154	630
中東アフリカ	100	115	400
北米	59	63	280
中南米	20	16	70
海外小計	637	682	2,570
合計	872	912	3,670

売上高	FY17 1Q	FY18 1Q	FY18 (予想)
日本	204	219	1,100
アジア	259	273	1,170
(東南アジア・ 極東)	(152)	(155)	(680)
(中国)	(80)	(98)	(370)
(インド)	(27)	(20)	(120)
欧州・CIS	101	117	610
中東アフリカ	122	112	390
北米	70	71	270
中南米	19	15	70
海外小計	571	588	2,510
合計	775	807	3,610

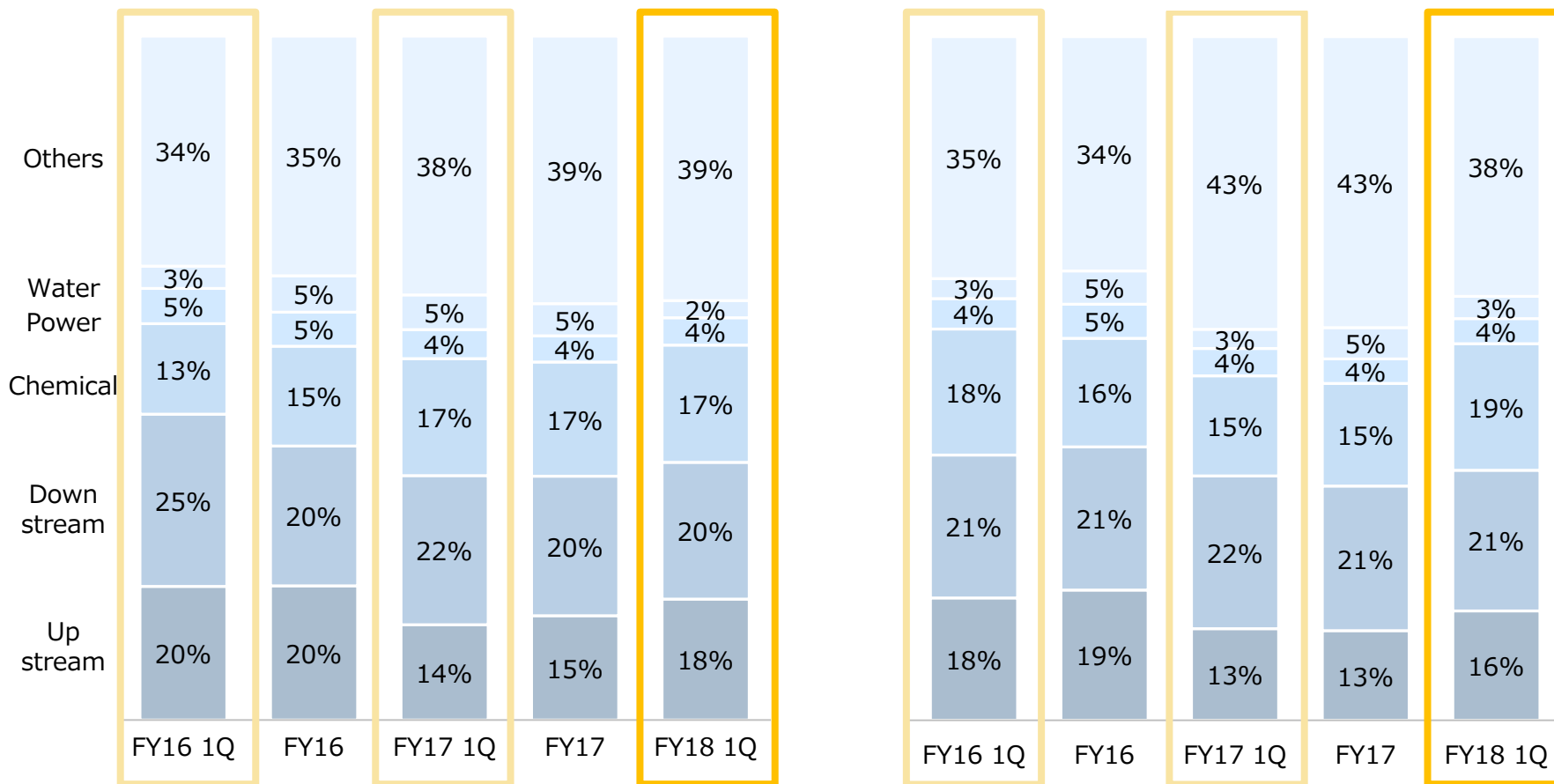
# <参考> 制御業種別 受注・売上高比率

\* FY18計画レート換算

## ◆ Upstreamが増加

### 受注

### 売上

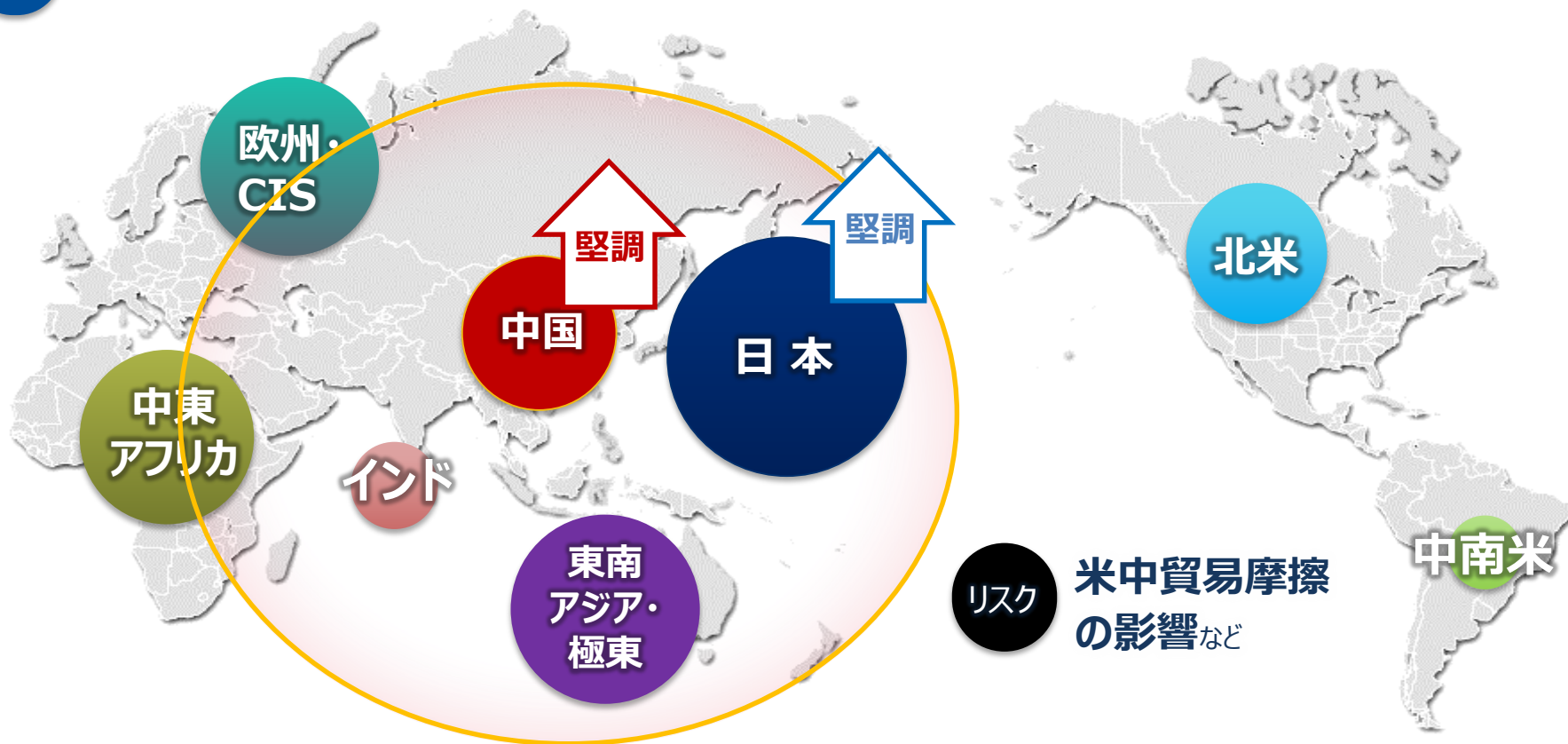


# 現状認識

市況 生産性向上目的の**OPEX投資継続**を期待、また**CAPEX**でも投資マインドに**回復の兆し**

地域 **中国**の**製品販売**が**堅調**で、**日本**は**堅調維持**、**北米・中東・ロシア**は機会に注目

業種 **LNG**を含む**ガス**需要増に伴う**CAPEX投資拡大**に期待



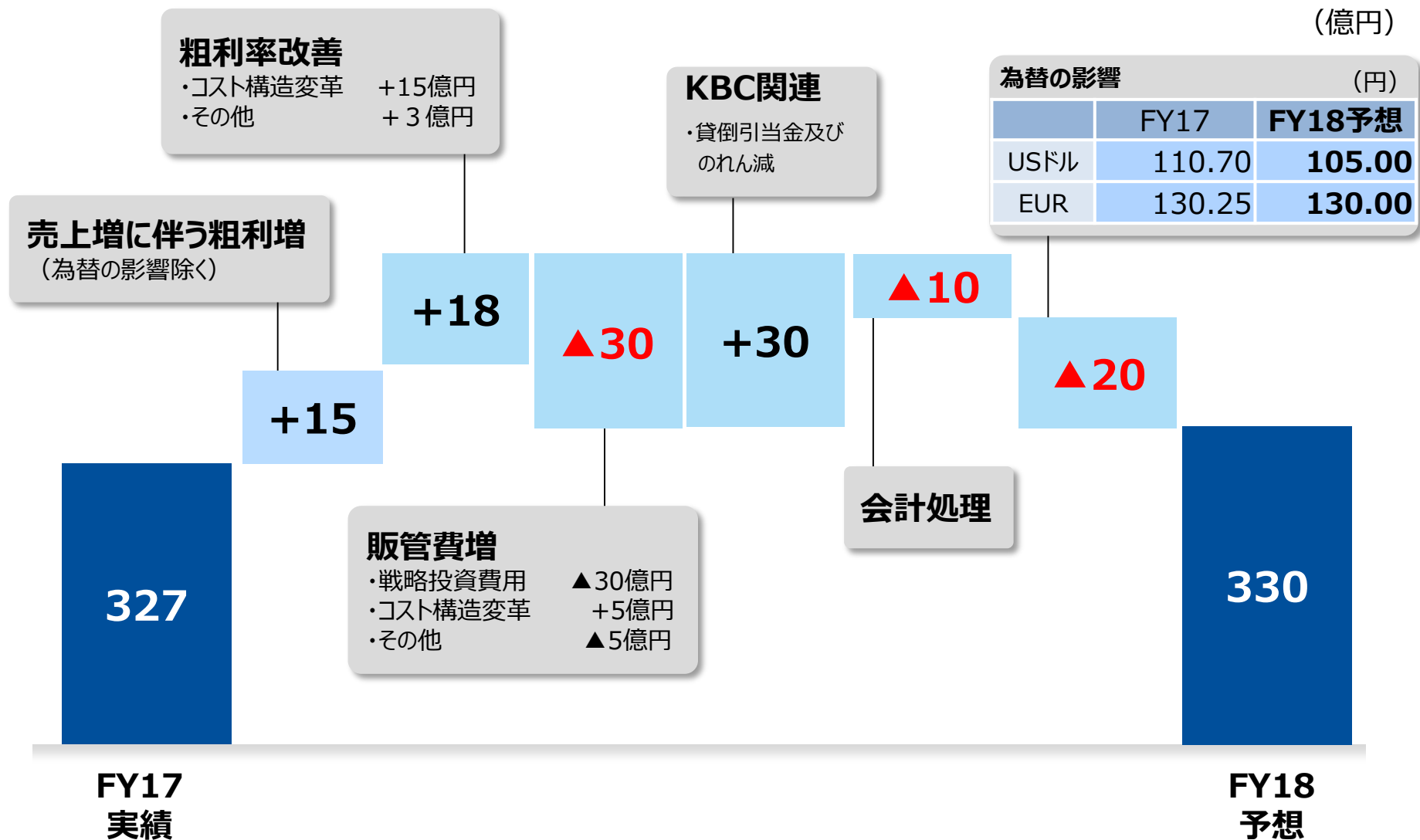
# 業績予想 (変更なし)

◆FY18 円高による減収予想だが、営業利益は増益見通し

(億円)

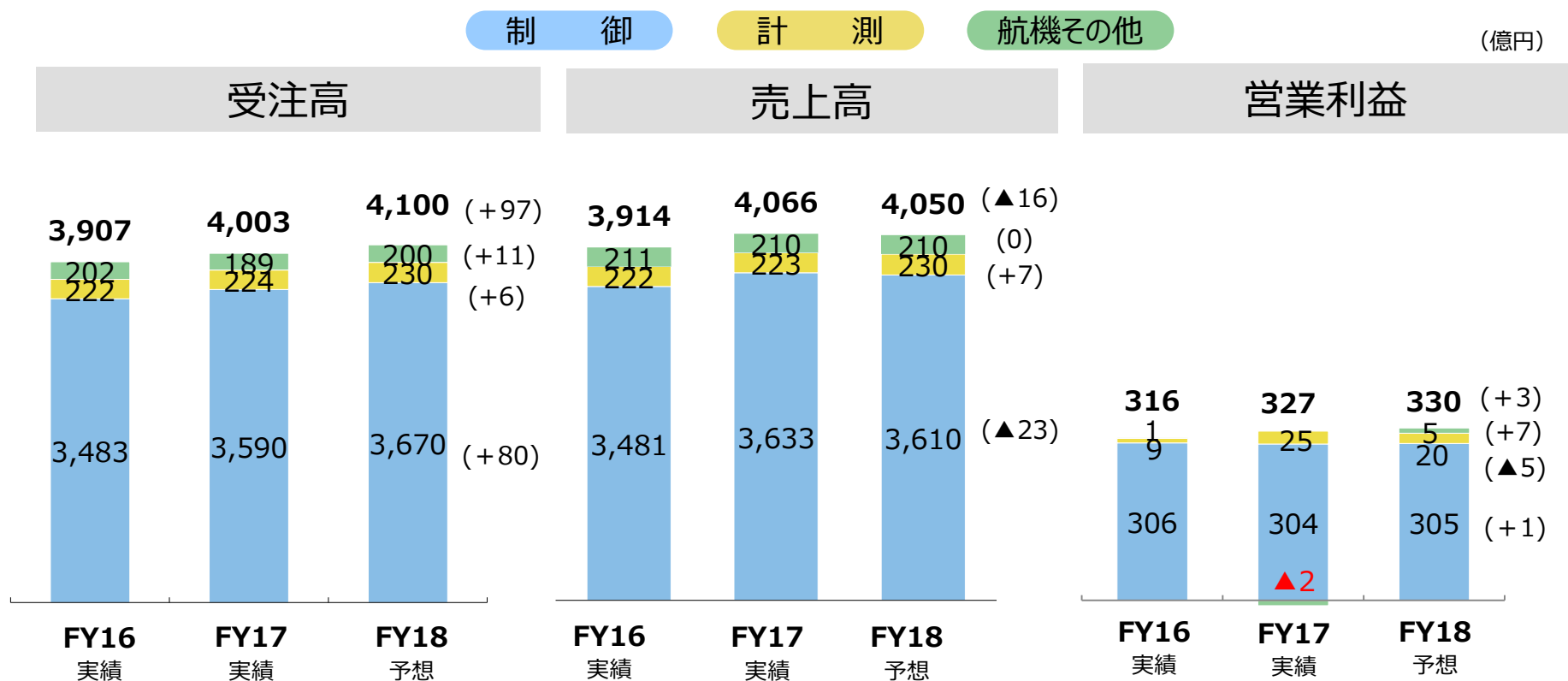
	FY16 実績(A)	FY17 実績(B)	FY18 予想(C)	前年比 (C-B)	伸長率 (C÷B-1)
受注高	3,907	4,003	<b>4,100</b>	+97	+2.4%
売上高	3,914	4,066	<b>4,050</b>	▲16	▲0.4%
営業利益	316	327	<b>330</b>	+3	+0.9%
ROS(%)	8.1	8.0	<b>8.1</b>	+0.1pt	—
経常利益	330	333	<b>320</b>	▲13	▲3.9%
税引前利益	355	294	<b>320</b>	+26	+8.8%
法人税等	97	79	<b>105</b>	+26	+32.9%
親会社株主に帰属 する当期純利益	258	214	<b>215</b>	+1	+0.5%
EPS(円)	96.44	80.27	<b>80.46</b>	+0.19	—
為替レート	1米ドル=	110.70円	<b>105円</b>	▲5.7円	—

# FY18営業利益増減要因 (変更なし)



# セグメント別 受注・売上・営業利益（変更なし）

- ◆ 制御事業 : 円高により減収予想だが、営業利益は**増益**の見通し
- ◆ 計測事業 : ほぼ前年並みの見通し
- ◆ 航機その他事業 : 受注、売上は前年並みだが売上構成の変化などにより増益の見通し



# 補足資料

- ・営業外・特別損益
- ・受注残高
- ・研究開発費・減価償却費・設備投資
- ・貸借対照表
- ・トピックス
- ・株価の状況

# 補足：営業外・特別損益

(億円)

	FY17_1Q	FY18_1Q
営業利益	25	48
営業外収益	11	11
営業外費用	7	3
経常利益	29	56
特別利益	24	4
特別損失	1	0
税引前利益	52	60
法人税等	19	26
親会社株主に帰属する 四半期純利益	33	34
(税負担率)	31.2%	37.0%

FY17: 固定資産売却益 18億円  
投資有価証券売却益6億円

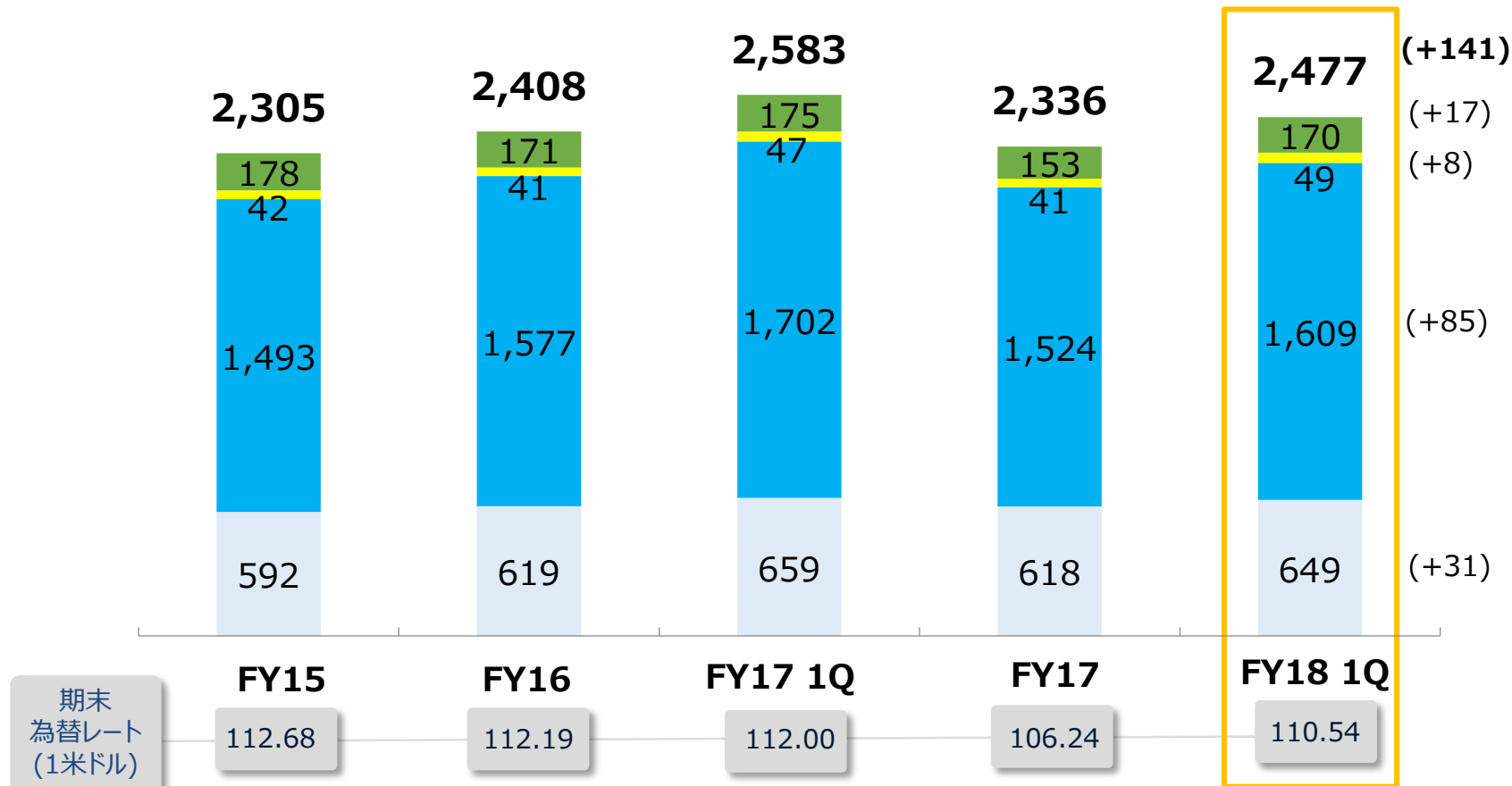
FY18: 投資有価証券売却益 4億円



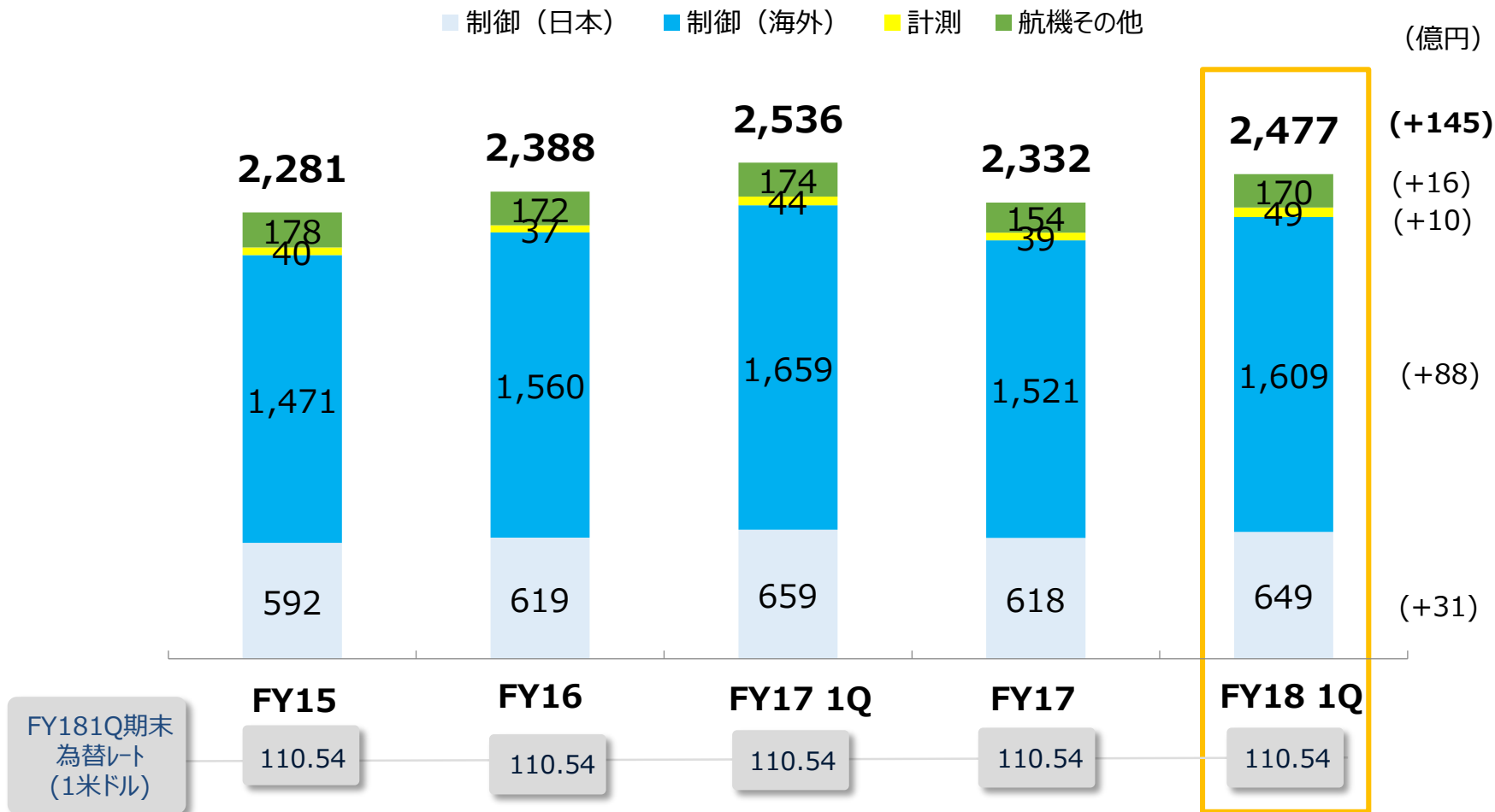
# 補足：セグメント別 受注残推移

■ 制御（日本） ■ 制御（海外） ■ 計測 ■ 航機その他

(億円)



# 補足：セグメント別 受注残推移 \*FY18 1Q期末為替レート換算

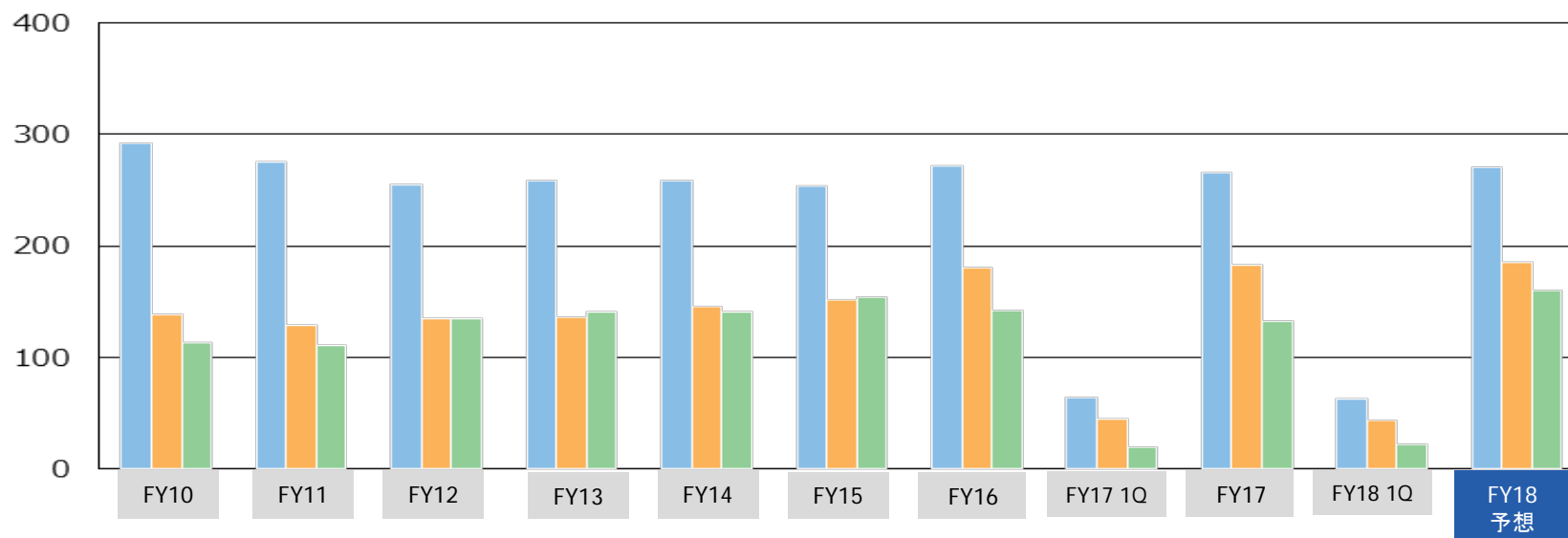


# 補足：研究開発費・減価償却費・設備投資

## ◆FY18 設備投資は中期計画戦略投資を前提に微増見込み

■ 研究開発費 ■ 減価償却費 ■ 設備投資

(億円)

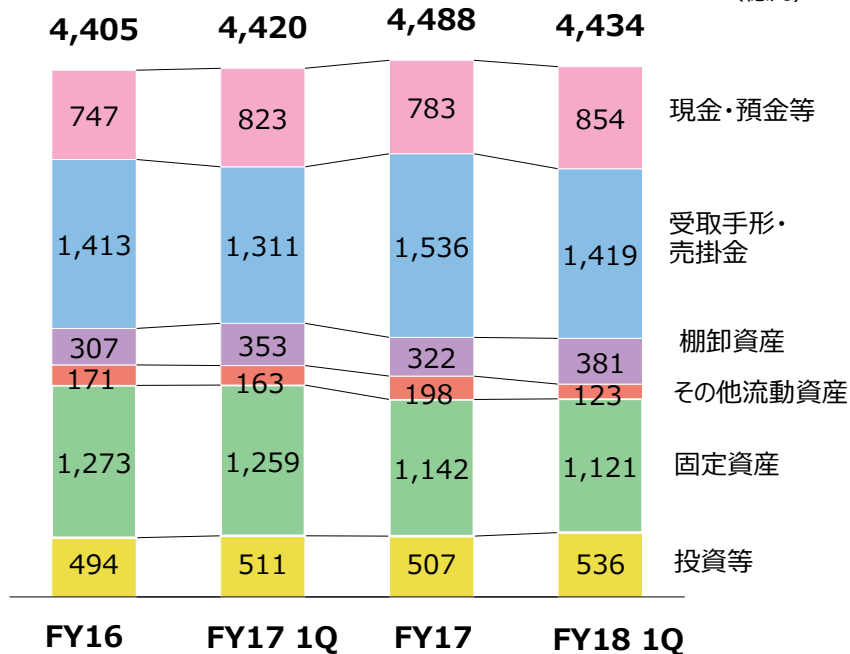


	FY10	FY11	FY12	FY13	FY14	FY15	FY16	FY17 1Q	FY17	FY18 1Q	FY18 予想
研究開発費 (対売上高比率)	292 9.0%	275 8.2%	255 7.3%	258 6.6%	258 6.4%	253 6.1%	271 6.9%	64 7.4%	266 6.5%	<b>62</b> <b>7.0%</b>	270 6.7%
減価償却費 (対売上高比率)	138 4.2%	128 3.8%	135 3.9%	136 3.5%	145 3.6%	151 3.6%	180 4.6%	44 5.1%	183 4.5%	<b>43</b> <b>4.8%</b>	185 4.6%
設備投資 (対売上高比率)	113 3.5%	111 3.3%	135 3.9%	140 3.6%	141 3.5%	154 3.7%	142 3.6%	19 2.2%	132 3.3%	<b>22</b> <b>2.4%</b>	160 4.0%

# 補足：貸借対照表

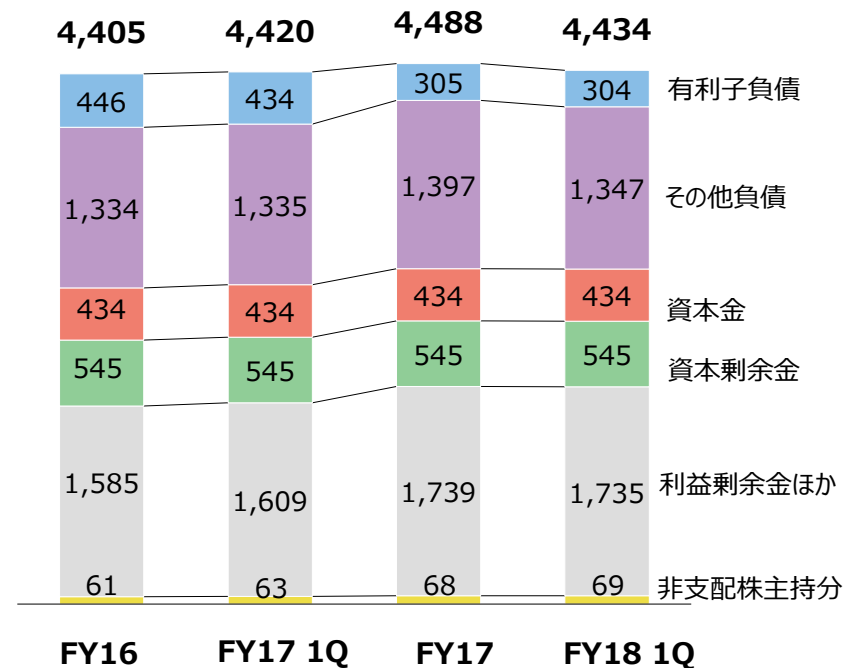
## 資産

(億円)



## 負債・資本

(億円)



# 補足：トピックス (5/9～8/7)

5月

2030年に向けたサステナビリティ中期目標を設定

横河ソリューションサービスの成果シェア型最適操業支援サービス「DDMOnEX」が日本製紙石巻工場に採用

6月

「音声データを基にした製造業パイプラインのつまり予知・予兆診断事業」が経済産業省の産業データ共有促進事業に採択

OpreX™

制御事業ポートフォリオ全般を包括するOpreX™ブランドを策定

プラントの統合的パフォーマンス管理を可能にする「OpreX™ Profit-driven Operation」ソリューションの提供を開始

2年連続で「FTSE4Good Index Series」と「FTSE Blossom Japan Index」に選定

7月

OpreX™ Control and Safety Systemの中核製品、統合生産制御システム「CENTUM VP R6.06」を開発、発売

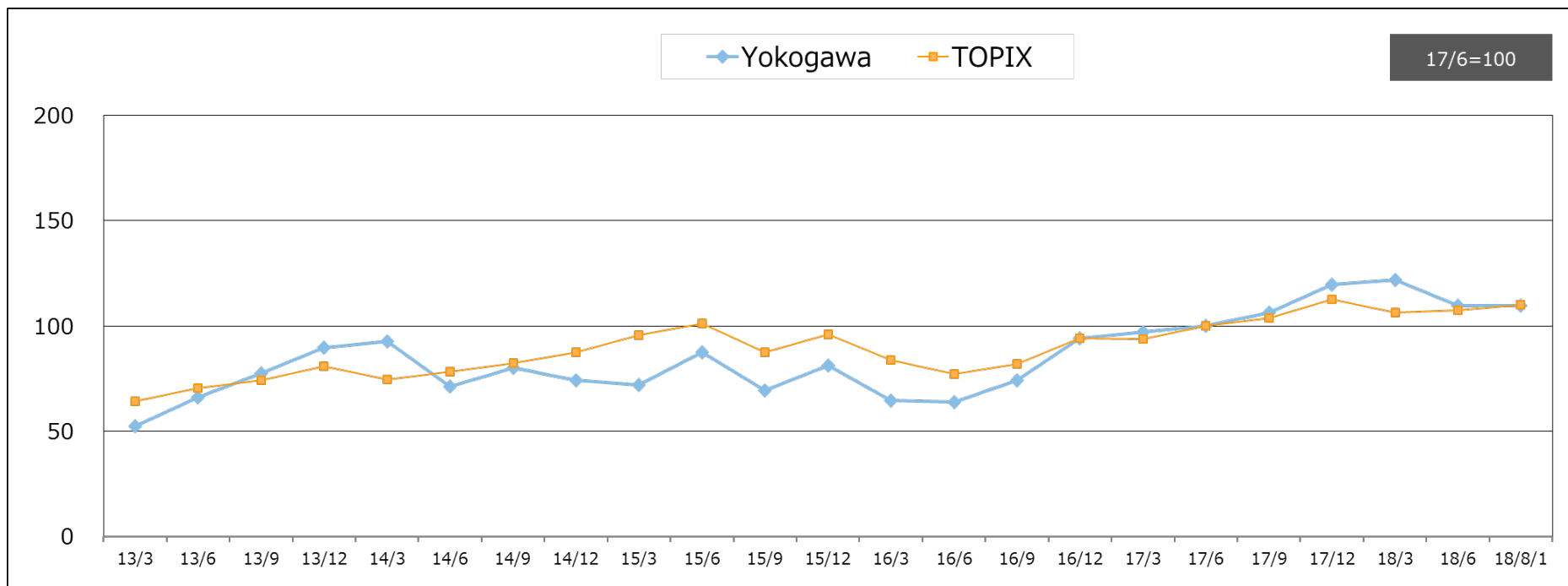
高度制御ソリューション「Platform for Advanced Control and Estimation R5.02」を開発・発売

インドネシアの石油精製プラントにおいて運転制御最適化技術による省エネ・CO2排出量削減を行う事業が二国間クレジット制度(JCM)のプロジェクトとして登録

インド・ラージャスターン州の上下水道情報中央管理システムを受注

※日付は発表月です

# 補足：株価の状況



(円)

	13/3	13/6	13/9	13/12	14/3	14/6	14/9	14/12	15/3	15/6	15/9	15/12	16/3	16/6	16/9	16/12	17/3	17/6	17/9	17/12	18/3	18/6	18/8/1
Yokogawa	946	1,187	1,398	1,615	1,667	1,281	1,442	1,333	1,295	1,574	1,247	1,465	1,163	1,146	1,335	1,693	1,752	1,801	1,916	2,158	2,198	1,972	1,978
TOPIX	1,035	1,134	1,194	1,302	1,203	1,263	1,326	1,407	1,543	1,630	1,411	1,547	1,347	1,245	1,322	1,518	1,512	1,611	1,674	1,817	1,716	1,731	1,770

	13/3	13/6	13/9	13/12	14/3	14/6	14/9	14/12	15/3	15/6	15/9	15/12	16/3	16/6	16/9	16/12	17/3	17/6	17/9	17/12	18/3	18/6	18/8/1
Yokogawa	53	66	78	90	93	71	80	74	72	87	69	81	65	64	74	94	97	100	106	120	122	109	110
TOPIX	64	70	74	81	75	78	82	87	96	101	88	96	84	77	82	94	94	100	104	113	107	107	110

本資料およびアナリスト説明会で提供する情報のうち業績見通し及び事業計画等に関するものは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいています。

従って、実際の業績は、様々な要因により、これらの見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

当社がこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

本資料の著作権は当社に帰属し、当社の事前の承諾なく複製または転用すること等を禁じます。

また、本資料には企業連結に係る暫定的な会計処理の確定に伴う過年度訴求修正を反映しておりません。(決算短信とは軽微な相違があります)

## 横河電機株式会社

財務・IR部 IR課

Email : Yokogawa\_Electric\_IR6841@cs.jp.yokogawa.com

TEL : 0422-52-6845

URL : <http://www.yokogawa.co.jp/cp/ir/index.htm>